

教育シラバス

syllabus

(授業計画)

理学療法学科

学校法人 阿弥陀寺教育学園

国際医療福祉専門学校七尾校

科目名	☆基礎数学	担当 教員	中村 重律	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
1年次 前期	1単位 15時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
<p>観測データをコンピュータなどで解析するのに必要な、基礎的な数学を学ぶ。 SPIにおける計算能力（割合、割引、速度算、三角関数）の理解を深め、習得する。</p>					
教科書、教材等			成績評価の方法		
<p>教科書： 資料を随時配布</p> <p>つながる高校数学 ベレ出版 参考書： 新しい数学2・3 東京書籍 数学Ⅱ 数研出版</p>			<p>100点満点の定期試験を実施し、60点以上を単位認定の目安とする。その他、授業態度、出席率、課題レポートも考慮した総合的判断により単位認定を行なう。</p>		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	一般的な数式や計算方法の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・課題プリントを実施。 ・課題を解き、誤答箇所を自ら直す。 ・計算の学力の把握及び向上。 	中村		
2	割合				
3	割引				
4	速度算 1				
5	速度算 2				
6	三角比 1				
7	三角比 2				
8	まとめ				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆生命倫理学	担当 教員	大貫 真二	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
1年次 前期	1単位 15時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
人間としての価値を学び考え、社会を構成する一人として正しく生活することができる。 また、職業人としての在り方、規範を学び誇り高く専門職として社会に貢献することができる。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 資料を随時配布 参考書：			定期試験の結果、授業態度、レポートの提出、及び出席状況等の総合評価により実施する。 100点満点の定期試験を実施し、60点以上を単位認定の目安とする。		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	倫理とは 人権と倫理その定義と歴史	各学習課題について配布資料を中心に講義形式で行う。	大貫		
2	患者の権利と生命倫理 生殖医療				
3	患者の権利と生命倫理 脳死・臓器移植				
4	患者の権利と生命倫理 終末期医療				
5	インフォームド・コンセントと意思決定の支援				
6	医療者－患者関係におけるコミュニケーション				
7	患者中心の医療とチーム医療				
8	まとめ				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	ボランティア論	担当 教員	由久保 弘明	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
1年次 通年	1単位 15時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
<p>ボランティアに関する基本的な知識を深め、医療・介護におけるその役割と意義を理解する。さらにボランティア活動に参加する場合とそれを受け入れる場合の双方の立場から、必要な教育や組織運営のあり方などを学習する。</p>					
教科書、教材等			成績評価の方法		
<p>教科書： 教材を適宜配布する。</p> <p>参考書： ボランティア論（ミネルヴァ書房）</p>			<p>ボランティア経験を主題とした課題レポートと出席率等を考慮して総合的に評価する。</p>		
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名	
1	ボランティアとは		<p>各学習課題についてPCプレゼンテーションを中心とした講義形式で行う。</p> <p>7月～8月中旬に1回以上、施設ボランティア活動を実際に行い、その内容をレポート形式で提出する。</p>	由久保	
2	接遇について				
3	能力の高めかた				
4	コミュニケーションについて				
5	施設内での注意事項				
6	介護保険制度と個人情報保護について				
7	ボランティアの実際について				
8	施設でのボランティア体験				

科目名	☆人間関係論	担当 教員	井上 明浩	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 メールで時間を確認後、教員室		
1年次 後期	1単位 15時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
<p>コミュニケーションの技術について、講義及びグループワークを通じて、自己理解を深める。 コミュニケーションの知識、技法を学ぶことにより、日常の人間関係を良好に保つ能力を身に付け、良好な関係づくりの基盤を学ぶ。</p>					
教科書、教材等			成績評価の方法		
<p>教科書： 教材を適宜配布する。</p> <p>参考書： 人間関係論入門（金子書房）</p>			<p>筆記試験（100%） その他：授業の出席率、参加態度により総合的に評価する。</p>		
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名	
1	共振の技術（自己紹介）		各学習課題について講義形式及びグループワークにて行う。	井上	
2	要約する力と質問する力				
3	話す力				
4	コミュニケーションとリズム				
5	コミュニケーションと身体				
6	集団でのコミュニケーション				
7	ディスカッションの技術				
8	ディスカッション				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	心理学入門	担当教員	大角 幸治	連絡先
対象学年	単位数			教員室
1年次 前期	1単位 15時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
人間理解の基礎を学ぶ（人間の心のしくみと行動）。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 心理学 第2版 （サイエンス社） 参考書： 適宜、資料配布			<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト（講義前に前回の復習として実施） 35点（5点×7回） ・授業態度やノート 5点 ・定期試験 60点 	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	心理学とは	各学習課題について配布資料を中心に講義形式で行う。	大角	
2	感覚と知覚と認知			
3	学習のメカニズム			
4	記憶のメカニズム			
5	情動・意欲・動機づけのメカニズム			
6	心の発達			
7	防衛反応(適応反応) と障害の受容過程			
8	性格、対人関係			

科目名	☆教育学	担当 教員	高比良 美香	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 メールで時間を確認後、教員室		
1年次 前期	1単位 15時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
臨床に出てから職業人として成長していく上で後輩を育成することは大切な仕事のひとつである。そのために必要な情報を収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて伝達できる能力を身につける。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 教材を適宜配布する。 参考書：			理学療法学科・作業療法学科教務内規に従う。 出席の毎回のレポート80%、レポート20%。		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題プリントを実施。 ・ 課題を解き、誤答箇所を自ら直す。 ・ 計算の学力の把握及び向上。 	高比良		
2	教育について				
3	教育対象の心理や行動について				
4	コミュニケーション能力について				
5	教育技法について				
6	生涯学習について				
7	グループ発表準備				
8	グループ発表（試験）				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆英語会話	担当 教員	栗林 潤	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
1年次 前期	2単位 30時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
<p>様々なテーマについて、賛成、反対の英語表現を学ぶとともに、自分の意見をまとめ、相手の意見を理解する練習を通して、ディスカッションやディベートができるようにする。</p>					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 随時資料を配布する。 参考書：			レポート、記述試験、ならびに授業の出席率、参加態度により総合的に評価する。		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	自己紹介・授業流れ・評価説明	各自、できる限り英語を用いて自己紹介をする。英語文章の作成、発音、会話練習	栗林		
2	自己紹介 英語文章の作成、発音、会話練習				
3	国・文化紹介 英語文章の作成、発音、会話練習	英語文章の作成、発音、会話練習			
4	県の紹介 英語文章の作成、発音、会話練習	英語文章の作成、発音、会話練習			
5	目標の紹介 英語文章の作成、発音、会話練習	英語文章の作成、発音、会話練習			
6	1回～5回までのSpeaking Test	Speaking Test			
7	飛行場での入国の英語	動画視聴、グループSpeaking			
8	ホテルでのチェックインの英語	グループSpeaking+筆記			
9	レストランでの注文、会計時の英語	グループSpeaking+筆記			
10	買い物での注文、サイズ確認などの英語	グループSpeaking+筆記			
11	人が具合が悪い時に使う英語	グループSpeaking+筆記			
12	8回～11回までの復習	グループSpeaking+筆記			
13	「映画」により英語を楽しく学ぶ過程を知る	海外の映画を鑑賞して英語に関連するレポートを作成。			
14	まとめと復習	定期試験を含める 【面接形式Speaking】			
15	まとめと復習	定期試験を含める 【面接形式Speaking】			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	医学英語	担当 教員	由久保弘明	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
1年次 後期	1単位 15時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
臨床で使われている医学用語を学ぶ。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 教材を適宜配布する。 参考書：			マーク試験（80%）＋小テスト（10%）＋ノート（10%） 合格基準：得点率60%以上		
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名	
1	身体、診療科、専門職種の名義について		各学習課題について配布資料を中心に講義形式で行う。	由久保	
2	骨格、関節の運動方向の名義について				
3	医学用語の成立ちの法則				
4	問診について				
5	医学専門用語、略語について				
6	疾患名、障害名について①				
7	疾患名、障害名について②				
8	医療器具の名義について				

科目名	情報科学	担当 教員	大角 幸治	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
1年次 前期	2単位 30時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
<p>基本的なパソコンの設定から電子メール、ワープロ、表計算、プレゼン等のアプリケーションソフトの使い方を学び、電子カルテの基本的な操作まで学ぶ。すでに使用してある程度使いこなしている学生もいると思うが、我流で使っている場合が多く、データを扱う上でのマナーを無視している場合が多い。基本的なマナーを確認しながら授業を進める。</p>					
教科書、教材等			成績評価の方法		
<p>教科書： 教材を適宜配布する。</p> <p>参考書：</p>			<p>学則に従う。出席率や授業中の態度も考慮して総合的に評価する。定期試験には実際にパソコンを操作する実技試験も含まれる。</p>		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	オリエンテーション、情報セキュリティについて	<ul style="list-style-type: none"> ・課題プリントを実施。 ・課題を解き、誤答箇所を自ら直す。 ・計算の学力の把握及び向上。 	大角		
2	インターネット、文献検索				
3	電子カルテ SOAPでの記入				
4	パソコンの基本設定				
5	ワードの基本操作				
6	ワードでの文書の作成				
7	ワードでのレポートの作成				
8	電子メール（WEBメール）の使い方				
9	エクセルの基本操作				
10	エクセルでのデータ処理、統計処理				
11	エクセルでのグラフ作成				
12	パワーポイントの基本操作				
13	パワーポイントでプレゼンする				
14	オフィスソフトの連携				
15	パソコン操作実技試験				

科目名	☆運動科学	担当 教員	井上 明浩	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
1年次 前期	2単位 30時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
人間にとって運動の必要性和スポーツがからだに働きかけてその能力を考えていく知識、方法等を科学的な事実を通して学んでいく。また、障害者に対するスポーツ指導の基礎知識を学ぶ。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 教材を適宜配布する。 参考書：			出席率や課題レポート等を考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名	
1	文化としてのスポーツ①		各学習課題について配布資料を中心に講義形式で行う。	井上	
2	文化としてのスポーツ②				
3	障害者スポーツの意義と理念①				
4	障害者スポーツの意義と理念②				
5	障害者福祉施策と障害者スポーツ①				
6	障害者福祉施策と障害者スポーツ②				
7	障害者スポーツにおける安全管理				
8	公益財団法人日本障害者スポーツ協会公認 障害者スポーツ指導者制度				
9	全国障害者スポーツ大会の概要				
10	障害の理解とスポーツ（身体障害）				
11	障害の理解とスポーツ（内部障害）				
12	障害の理解とスポーツ（知的障害）				
13	障害の理解とスポーツ（精神障害）				
14	障害の理解とスポーツ（高齢者）				
15	まとめ				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆運動科学実習	担当 教員	井上 明浩	連絡先
対象学年	単位数			教員室
1年次 後期	1単位 30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
一般的な体力トレーニング方法を実践しながら学ぶ。また、全国スポーツ障害者スポーツ大会の目的と意義を理解し、障害者に対するスポーツ指導の理論を学び実践する。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 障害者スポーツ指導教本 初級・中級 改訂版 (ぎょうせい) 参考書： 全国障害者スポーツ大会 競技規則集 (解説付) 日本障害者スポーツ協会編			筆記試験 (100%) その他：授業の出席率、参加態度により総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法		教員名
1	トレーニング論	各学習課題について講義および実技を取り入れて行う。		井上
2	スポーツ心理学			
3	スポーツと栄養			
4	障害者のスポーツ指導における留意点			
5	全国障害者スポーツ大会の歴史と目的と意義			
6	全国障害者スポーツ大会選手団の編成とコーチの役割			
7	全国障害者スポーツ大会の実施競技			
8	全国障害者スポーツ大会の障害区分①			
9	全国障害者スポーツ大会の障害区分②			
10	障害者とのスポーツ交流準備①			
11	障害者とのスポーツ交流準備②			
12	石川県障害者スポーツ協会主催の障害者スポーツ教室並びに講習会への参加 (カローリング、卓球バレー)			
13				
14	石川県障害者スポーツ大会への運営ボランティア「スポーツパートナー」としての参加			
15				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	公務員試験対策講座		担当 教員	中村 重律 福田 聖司	連絡先
対象学年	単位数				教員室
2年次後期 3年次前期	4単位	60時間			質問受付時間・場所等 随時・教員室
授業形態	講義				
講義の概要					
最近の出題傾向を中心に地方初級試験に的を絞り着実に実力が付くよう概説する。					
教科書、教材等				成績評価の方法	
教科書： 資料配付				教務内規に従う。出席率や課題レポート等も考慮して総合的に評価する。	
参考書： 地方初級教養試験過去門350（実務教育出版）					
2年次後期		3年次前期		学習内容並びに方法	教員名
回数	学習課題	回数	学習課題		
1	政治Ⅰ	16	文書理解Ⅰ	各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	中村 福田
2	政治Ⅱ	17	文書理解Ⅱ		
3	政治Ⅲ	18	判断推理Ⅰ		
4	政治Ⅳ	19	判断推理Ⅱ		
5	経済Ⅰ	20	判断推理Ⅲ		
6	経済Ⅱ	21	判断推理Ⅳ		
7	経済Ⅲ	22	数的推理Ⅰ		
8	経済Ⅳ	23	数的推理Ⅱ		
9	社会Ⅰ	24	数的推理Ⅲ		
10	社会Ⅱ	25	数的推理Ⅳ		
11	社会Ⅲ	26	資料解釈Ⅰ		
12	社会Ⅳ	27	資料解釈Ⅱ		
13	模擬試験Ⅰ	28	模擬試験Ⅰ		
14	模擬試験Ⅱ	29	模擬試験Ⅱ		
15	まとめ	30	まとめ		

科目名	☆解剖学 I	担当 教員	由久保弘明	連絡先
対象学年	単位数			教員室
1年次 前期	4単位 60時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
<p>筋骨格や神経、内臓、感覚器など身体の構造について学ぶ。 随時、小テストおよび単元別テストを実施し、段階的に学習状況を確認していく。</p>				
教科書、教材等			成績評価の方法	
<p>教科書： 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎 分野 解剖学（医学書院）</p> <p>参考書： 解剖学ノート（医歯薬出版）</p>			<p>単元試験と定期試験の合計点数の得点率が6割以上を合格とする。その他、出席率や課題レポート等も考慮して総合的に評価する。</p>	
回数	学習課題		講義形式	教員名
1	人体の大要と解剖学用語		<ul style="list-style-type: none"> ・課題プリントを実施。 ・課題を解き、誤答箇所を自ら直す。 ・計算の学力の把握及び向上。 	由久保
2				
3				
4	人体の構成			
5				
6				
7	内臓学（循環器系を除く）			
8				
9	循環器系			
10				
11	感覚器系			
12				
13	筋骨格系（総論）			
14				
15	神経系（総論） 神経系区分、構成、脳、脊髄、意識、伝導、反射			
16				
17	関節靭帯総論			
18				
19	関節靭帯各論（上肢帯、上肢）			
20				
21	関節靭帯各論（下肢帯、下肢）			
22				
23	関節靭帯各論（頭頸部、体幹）			
24				
25	末梢神経系の構成と脊髄神経			
26	末梢神経系 （頸・腕神経叢、胸神経、腰仙骨尾骨神経叢）			
27				
28				
29				
30				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆解剖学Ⅱ	担当 教員	近藤 陽久	連絡先
対象学年	単位数		教員室	
1年次 後期	2単位 30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
<p>大脳や脊髄を中心とした神経系の構造を学ぶ。 スケッチや単語帳作成などをおして解剖学的知識を深めることを目的とする。</p>				
教科書、教材等			成績評価の方法	
<p>教科書： 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎 分野 解剖学（医学書院）</p> <p>参考書： 病気がみえる vol.7 脳・神経（メディック メディア）</p>			<p>筆記試験（100%） 内容：単元試験3回（50点×3）と定期試験（100点） 合計250点満点 合格基準：得点率60%以上（合計150点以上）</p>	
回数	学習課題	授業形式	教員名	
1	神経系総論（中枢神経系）	講義	近藤	
2	大脳皮質	講義		
3	大脳皮質	イラスト・スケッチ		
4	脳波、大脳辺縁系	講義		
5	大脳基底核	講義		
6	小脳	講義		
7	辺縁系、基底核、小脳	イラスト・スケッチ		
8	脳幹	講義		
9	脊髄 機能と解剖	講義		
10	脊髄 反射（I a、I b抑制、 γ -roop）	イラスト・スケッチ		
11	脊髄伝導路（上行路）	講義		
12	脊髄伝導路（上行路）	講義		
13	脊髄伝導路	イラスト・スケッチ		
14	脊髄伝導路	イラスト・スケッチ		
15	中枢神経のまとめ	まとめ		

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆解剖学実習	担当 教員	由久保 近藤 大角 石毛	連絡先
対象学年	単位数			教員室
1年次 前期	2単位 60時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
骨学、筋学を中心とした身体の構造を学ぶ。 単に形態だけでなく、常に他の機能との関連性を念頭におき、人体模型 を使つてのイラスト・スケッチを行う。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎 分野 解剖学 (医学書院) 参考書： ボディ・ナビゲーション (医道の日本 社)			理学療法学科・作業療法学科教務 内規に従う。出席率や課題レポ ート等も考慮して総合的に評価す る。	
回数	学習課題	授業形式	教員名	
1	骨学 (上肢帯、上肢)	講義	由久保 近藤 大角 石毛	
2		講義		
3		イラスト・スケッチ		
4		イラスト・スケッチ		
5		イラスト・スケッチ		
6		イラスト・スケッチ		
7	骨学 (下肢帯、下肢)	講義		
8		講義		
9		イラスト・スケッチ		
10		イラスト・スケッチ		
11		イラスト・スケッチ		
12		イラスト・スケッチ		
13	骨学 (頭頸部、体幹)	講義		
14		講義		
15		イラスト・スケッチ		
16		イラスト・スケッチ		
17		イラスト・スケッチ		
18		イラスト・スケッチ		
	単元試験 (骨学)	試験		
19	筋学 (上肢帯、上肢)	講義		
20		単語帳		
21		単語帳		
22		単語帳		
23		単語帳		
24	筋学 (下肢帯、下肢)	講義		
25		単語帳		
26		単語帳		
27		単語帳		
28		講義		
29	筋学 (頭頸部、体幹)	単語帳		
30		単語帳		

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆生理学	担当 教員	由久保 弘明	連絡先	
対象学年	単位数			教員室	
1年次 後期	4単位 60時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
授業形態	講義				
講義の概要					
<p>前期に学んだ解剖学の知識を土台に人体における生理学的メカニズムについて学ぶ。 随時、小テストおよび単元別テストを実施し、段階的に学習状況を確認していく。</p>					
教科書、教材等			成績評価の方法		
<p>教科書： 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学（医学書院）</p> <p>参考書： 生理学ノート（医歯薬出版）</p>			<p>筆記試験（100%） 内容：単元試験2回（50点×2）と定期試験（100点） 合計300点満点 合格基準：得点率60%以上（合計180点以上）</p>		
回数	学習課題	講義形式	教員名		
1	血液	各学習課題についてPCプレゼンテーションなどによる講義形式で行う。	由久保		
2					
3					
4	消化と吸収				
5					
6	腎臓と排泄				
7					
8					
9	循環器系				
10					
11	呼吸器系				
12	内分泌				
13					
14	末梢神経系（脳神経）				
15					
16	代謝と体温				
17	運動生理				
18					
19	感覚				
20					
21	人体の発生				
22					
23	性と生殖				
24	筋の収縮				
25	細胞と内部環境				
26					
27	神経の興奮伝導と末梢神経				
28					
29	末梢神経系（自律神経）				
30	酸－塩基平衡				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆生理学実習	担当 教員	由久保 大角 近藤	連絡先
対象学年	単位数		教員室	
1年次 後期	2単位 60時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
人体機能のメカニズムについて理解を深める。生理学の講義で得た知識を各実習によってより深めることを目的とする。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 標準理学療法学・作業療法学 専門 基礎分野 生理学（医学書院） 参考書：			理学療法学科・作業療法学科教務内規に従う。 筆記による定期試験の結果および出席率や課題 レポート等も考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	各学習課題の説明と講義	講義形式	各教員	
2, 3	心電図・負荷心電図（1）	①標準の12誘導心電図を記録し、心臓の電氣的興奮の発生の様子をを知る。 ②12誘導の方法、心電図の波形の意味を理解し、記録した心電図の解析を行う。 ③運動負荷試験（マスター2階段試験）の実際を学習する。	由久保	
4, 5	心電図・負荷心電図（2）			
6, 7	心電図・負荷心電図（3）			
8, 9	バイタル測定・各種データの見方（1）	①バイタル測定の実施およびそのデータの理解や解釈の仕方を学習する。 ②その他、各種データの見方を学習する。 ③スパイロメーターを用いて呼吸機能の測定を行い、測定項目の意味を理解する。	大角	
10, 11	バイタル測定・各種データの見方（2）			
12, 13	バイタル測定・各種データの見方（3）			
14, 15	表在感覚・深部感覚（1）	①表在感覚および深部感覚の検査方法の実際を学習する。 ②感覚検査の目的を理解し、検査結果の解釈の仕方を学習する。	大角	
16, 17	表在感覚・深部感覚（2）			
18, 19	表在感覚・深部感覚（3）			
20, 21	表面筋電図・運動神経伝導速度の測定（1）	①等張性運動（屈伸運動）や等尺性運動をしているときの筋電図を記録し、屈筋と伸筋の働きを理解する。 ②誘発筋電図（M波）の記録から運動神経の伝導速度を求め、その働きを理解する。	近藤	
22, 23	表面筋電図・運動神経伝導速度の測定（2）			
23, 24	表面筋電図・運動神経伝導速度の測定（3）			
26～ 30	各学習課題の講義と復習	講義形式	各教員	

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆運動学	担当教員	近藤 陽久	連絡先
対象学年	単位数			教員室
1年次 後期	2単位 30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
<p>運動に関する身体の構造と機能の関係を理解する。 運動に関する原理・理論を理解する。 運動学で得た知識を用いて運動障害の分析ができるようにする。</p>				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 基礎運動学（医歯薬出版） 参考書： 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学（医学書院）			筆記試験（100%） 内容：単元試験3回（50点×3）と定期試験（100点） 合計250点満点 合格基準：得点率60%以上（合計150点以上）	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	生体力学の基礎（1）	各学習課題についてPCプレゼンテーションなどによる講義形式で行う。	近藤	
2	生体力学の基礎（2）			
3	生体の構造と機能（1）			
4	生体の構造と機能（2）			
5	生体の構造と機能（3）			
6	四肢と体幹の運動（1）			
7	四肢と体幹の運動（2）			
8	四肢と体幹の運動（3）			
9	運動と動作分析			
10	体力と運動処方			
11	姿勢			
12	歩行と走行（1）			
13	歩行と走行（2）			
14	運動発達・運動学習			
15	まとめ			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆運動学実習	担当 教員	由久保 近藤 石毛	連絡先
対象学年	単位数		教員室	
1年次 前期	2単位 60時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
<p>実習を通して運動学の知識を深めることを目的とする。正確な観察とデータの収集をして、実習結果を科学的な報告書としてまとめることにも重点をおく。実習内容は班毎に分かれて、(1) 生体観察と機能解剖学 (2) 身体運動と力学 (3) 生体力学の基礎 (4) 姿勢と重心動揺 の4つ課題を遂行する。</p>				
教科書、教材等			成績評価の方法	
<p>教科書： 基礎運動学（医歯薬出版） 解剖学（医学書院）</p> <p>参考書： 運動学実習（医歯薬出版） 臨床運動学（医歯薬出版）</p>			理学療法学科・作業療法学科教務内規に従う。課題レポートによって評価するが、実習態度や出席率等も考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1, 2	各学習課題の説明と講義	講義形式	各教員	
3, 4	生体観察と機能解剖学	【実習形式】 視診、触診により体表解剖学を学び、各関節運動や身体運動の面と軸を理解する。骨格筋の作用・逆作用を確認し機能を理解する。	由久保	
5, 6				
7, 8				
9, 10	身体運動と力学	【実習形式】 バイオデックスを用いて力学・運動学・運動力学を学ぶ。	近藤	
11, 12				
13, 14				
15, 16	生体力学の基礎	【実習形式】 ベクトルや三角関数を用いて生体力学の基礎を学ぶ。	石毛	
17, 18				
19, 20				
21, 22	姿勢と重心動揺	【実習形式】 基本的立位姿勢におけるアライメントを確認し、静的バランスと動的バランスについて重心動揺計を用い学習する。	石毛	
23, 24				
25, 26				
27～ 30	各学習課題の講義と復習	講義形式	各教員	

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	臨床心理学	担当 教員	大角 幸治	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
2年次 前期	2単位 30時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
<p>リハビリテーションは単なる機能回復訓練のみならず、人間らしく生きる権利の回復（全人間的回復）やQOL（生活・人生の質）の向上のために重要な役割を果たす。そのためには障害者自身の心理的問題、治療自体に内在する心理的問題や介護家族に関する心理的問題を理解する必要がある。</p>					
教科書、教材等			成績評価の方法		
<p>教科書： 面白いほどよくわかる！臨床心理学（西東社）</p> <p>参考書：</p>			筆記試験（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	臨床心理学とは何か	講義を中心にビデオを補助教材として使用。また、実習に関しては別途資料を用意する。	大角		
2	アセスメントの技法と理解				
3	検査法の種類				
4	データの分析技術				
5	人の発達と発達段階				
6	発達と心の問題①				
7	発達と心の問題②				
8	発達と心の問題③				
9	精神障害の理解				
10	心理療法①				
11	心理療法②				
12	心理検査				
13	臨床心理学の研究				
14	臨床心理士の資格と職業				
15	まとめ				

☆専任教員（実務経験のある教員等）による授業科目

科目名	人間発達学	担当 教員	杉本 孝宗	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
1年次 後期	1単位 15時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
人間は、生命を受けてから過齢とともに死に至るまでの時間経過の中で生涯にわたり心身の構造や機能が変化していくものである。胎児期から老年期に至る発達段階について身体的、知的、情緒的、社会的な側面等様々な角度から理解し、理学療法、作業療法を行ううえでの参考となるよう検討していきたい。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 生涯人間発達学（三輪書店） 参考書：			理学療法学科・作業療法学科教務内規に従う。 出席率や課題レポート等も考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名	
1	人間発達とはなにか		各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	杉本	
2	身体的、知的、情緒的、社会的発達等				
3	運動発達				
4	胎児期				
5	新生児期				
6	幼児期				
7	児童期～老年期				
8	まとめ				

☆専任教員（実務経験のある教員等）による授業科目

科目名	☆保健医療福祉概論	担当 教員	大貫 真二	連絡先
				教員室
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
1年次 後期	1単位 15時間			
授業形態	講義			
講義の概要				
日本国の社会保障制度や社会福祉制度について理解する。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 教材を適宜配布する。 参考書：			筆記試験（100%） その他：授業の出席率、参加態度により総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	社会福祉の基礎理論、思想と倫理	各学習課題について講義形式で行う。	大貫	
2	社会福祉の歴史			
3	欧米における社会福祉の史的展開			
4	他国の社会福祉、社会福祉の援助対象			
5	社会福祉のニーズ、社会福祉の制度体系			
6	社会福祉基礎構造、社会福祉の法制度			
7	社会福祉の行政、国の社会福祉財政			
8	社会福祉施設と財政、社会福祉と民間福祉活動			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆リハビリテーション 概論	担当 教員	近藤 陽久	連絡先
対象学年	単位数			教員室
1年次 前期	1単位 15時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
地球的な規模で社会が急激に変化している。リハビリテーションは其中で高齢社会における社会的関心から、科学技術の高度な発展から、ともに影響を免れ得ない。そのような中でのリハビリテーションについて学習する。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： リハビリテーションビジュアルブック (学研) 参考書：			筆記試験（100%） その他：授業の出席率、参加態度により総合的に評価する。	
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名
1	リハビリテーションの理念		<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題プリントを実施。 ・ 課題を解き、誤答箇所を自ら直す。 ・ 計算の学力の把握及び向上。 	近藤
2	障害分類と障害心理			
3	ADL評価の意義			
4	リハビリテーションチームとチーム医療			
5	老化と健康、健康とスポーツ			
6	廃用症候群、介護保険・介護予防			
7	運動機能および精神機能の見方			
8	リハビリテーション計画、予後予測、リスク管理			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	リハビリテーション 医学	担当 教員	杉本 孝宗	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
2年次 後期	1単位 15時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
リハビリテーション医学の基礎を修得する。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： リハ医学のすすめ（三輪書店） 参考書： リハビリテーションビジュアルブック（学研）			筆記試験（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	脳卒中概要 急性期、回復期、維持期	各学習課題について配布資料を中心に講義形式で行う。	杉本		
2	摂食・嚥下障害、高次機能障害、言語障害				
3	頭部外傷、低酸素脳症				
4	脊髄損傷、脊椎疾患				
5	神経変性疾患、パーキンソン病				
6	末梢神経疾患、顔面神経麻痺				
7	内部障害、骨・関節疾患				
8	呼吸・循環器疾患				

科目名	☆内部障害学	担当 教員	吉村 光弘 山下 朗	連絡先
対象学年	単位数		教員室	
2年次 前期	1単位 15時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
症候学をはじめとする内科学的知識について学ぶ。呼吸器疾患、腎・泌尿器疾患、消化器疾患、肝胆膵疾患、心疾患の基礎的な知識を修得する。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学（医学書院） 参考書：			マークシート形式による試験（80%）と課題レポート（20%）を考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	症候学	各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	吉村	
2	呼吸器疾患（1）			
3	呼吸器疾患（2）			
4	腎・泌尿器疾患			
5	消化器疾患			
6	肝胆膵疾患			
7	循環器疾患（1）		山下	
8	循環器疾患（2）			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆骨関節障害学	担当 教員	高澤 雅至	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
2年次 前期	2単位 30時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
医療専門職に必要な整形外科的知識について学ぶ。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 整形外科疾患ビジュアルブック (Gakken) 参考書：			マークシート形式による試験（80％）と課題レ ポート（20％）を考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	(総論) 4-5 慢性関節疾患	各学習課題について教科書を中 心に講義形式で行う。	高澤		
2	(総論) 4-6 関節リウマチと強直性脊椎炎				
3	(総論) 4-8 末梢神経障害 (1)				
4	(総論) 4-8 末梢神経障害 (2)				
5	(総論) 4-9 深部静脈血栓症 4-10 腱・腱鞘の疾患				
6	(各論) 6-2 頸椎・脊椎 (1)				
7	(各論) 6-2 頸椎・脊椎 (2)				
8	(各論) 6-3 胸椎 6-4 腰椎 (1)				
9	(各論) 6-4 腰椎 (2)				
10	(各論) 6-6 肩関節および上腕 6-7 肘関節および前腕 (1)				
11	(各論) 6-7 肘関節および前腕 (2) 6-8 手関節および手指				
12	(各論) 6-10 股関節および大腿 (1)				
13	(各論) 6-10 股関節および大腿 (2)				
14	(各論) 6-11 膝関節および下腿 (1)				
15	(各論) 6-11 膝関節および下腿 (2) 6-12 足関節および足				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆神経筋障害学	担当 教員	橋井 美奈子	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
2年次 前期	2単位 30時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
脳神経系に生じる各種疾患について概説する。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 病気がみえる vol.7 脳・神経 (メディックメディア) 参考書：			マークシート形式による試験（80%）と課題レポート（20%）を考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	神経系の構造と機能障害	各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	橋井 美奈子		
2	脳血管障害の総論				
3	脳梗塞、くも膜下出血（SAH）				
4	脳出血				
5	頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア				
6	水頭症				
7	顔面神経麻痺、Wallenberg症候群				
8	Brown-sequard症候群				
9	多系統萎縮症（MSA）				
10	Parkinson病（PD）				
11	筋萎縮性側索硬化症（ALS）				
12	多発性硬化症（MS）				
13	末梢神経障害（ニューロパチー）				
14	重症筋無力症（MG）とLambert-Eaton筋無力症候群				
15	筋ジストロフィー				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆発達障害学	担当 教員	松島 昭廣	所属 独立行政法人国立病院機構 七尾病院
対象学年	単位数			
2年次 前期	1単位 15時間			
授業形態	講義			
講義の概要				
小児疾患の理解に必要な、基本的な症候や疾患の知識について学ぶ。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎 分野 小児科学（医学書院） 参考書：			理学療法学科・作業療法学科教務内規に従う。 出席率や課題レポート等も考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名
1	新生児・未熟児疾患 (胎児期・新生児期・周産期)		各学習課題について教科書を中心 に講義形式で行う。	松島
2	先天異常と遺伝病 (染色体異常・先天奇形・先天代謝異常)			
3	神経・筋・骨系疾患 (中枢神経疾患)			
4	神経・筋・骨系疾患 (てんかん・発達遅滞・脳性まひ)			
5	神経・筋・骨系疾患 (脊髄性疾患・末梢神経疾患)			
6	神経・筋・骨系疾患 (筋・骨・関節疾患)			
7	心身症・神経症			
8	重症心身障害児			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆病理学	担当 教員	由久保弘明	連絡先	
対象学年	単位数			教員室	
2年次 前期	2単位 30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
授業形態	講義				
講義の概要					
<p>疾病の原因および形態的变化を、主要疾病と関連させながら基本的内容について学ぶ。</p>					
教科書、教材等			成績評価の方法		
<p>教科書： 教材を適宜配布する。</p> <p>参考書： 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 病理学（医学書院）</p>			<p>マークシート形式による試験（80％）と課題レポート（20％）を考慮して総合的に評価する。</p>		
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名	
1	第1～3-1章（概要、病因論、退行性病変）		各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	由久保	
2	第3-2章（進行性病変）				
3	第4-1章（代謝異常 蛋白、脂質、糖質）				
4	第4-2章（代謝異常 無機質、色素）				
5	第5-1章（循環障害）				
6	第5-2章（循環障害）				
7	第6-1章（免疫）				
8	第6-2（自己免疫疾患） 第7-1章（炎症）				
9	第7-2章（感染症）				
10	第7-3章（感染症）				
11	第8章（腫瘍） 第9章（老化）				
12	第10章（染色体とDNA） 第11章（先天異常）				
13	各論 第1～3章（循環器、呼吸器、消化器1）				
14	各論 第3～4章（消化器2、神経系1）				
15	各論 第4章（神経系2,3） 第5章（運動器）				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆精神障害学	担当 教員	高田 省吾	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
2年次 前期	1単位 15時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
精神疾患あるいは精神障害を有する患者の理解に必要な、基本的な症候や疾患の知識について学ぶ。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 精神神経疾患ビジュアルブック（学研） 参考書：			マークシート形式による試験（80％）と課題レポート（20％）を考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	精神医学の理解・精神機能の把握	各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	高田		
2	痙攣性疾患（てんかん）				
3	気分障害				
4	統合失調症				
5	神経症性障害				
6	ストレス反応および適応障害				
7	生理的・身体的要因に関連する障害				
8	成人の人格・行動障害				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆画像診断学	担当 教員	高位 輝昭	連絡先
対象学年	単位数			教員室
2年次 後期	1単位 15時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
画像診断を行うための様々な検査法（単純・造影X線写真、CT、MRI、超音波検査、血管撮影など）の原理と臨床応用の実際について学ぶ。リハビリテーション分野での主な対象である骨関節疾患、脳血管障害をはじめとする神経疾患などの画像診断の特徴的な所見などについて学習する。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 基礎から学ぶ画像の読み方（医歯薬出版） 参考書： 画像診断コンパクトナビ（医学教育出版社）			筆記試験（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	画像診断学総論	各学習課題について教科書、PCプレゼンテーションなどによる講義形式で行う。	高位	
2	造影X線・MRI・CT写真の原理と臨床の実際			
3	骨関節障害について（脊柱）			
4	骨関節障害について（上肢・下肢）			
5	脳（脳梗塞、その他の脳障害）			
6	脳（脳出血、その他の脳障害）			
7	内臓（X線画像・CT・MRIでの基本部位の確認）			
8	内臓（疾患の読み撮り方）			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆薬理学	担当 教員	宮川 大輔	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
2年次 前期	1単位 15時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
<p>薬理学の主たる目的は、薬物作用、作用機序、治療的応用性などを明らかにすることによって、薬物治療における適切な医薬品の選択、適正な用法の基礎を理解すること。</p>					
教科書、教材等			成績評価の方法		
<p>教科書： 教材を適宜配布する。</p> <p>参考書： 救急救命標準テキスト（へるす出版）</p>			筆記試験（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名	
1	薬理学の定義		各学習課題について、スライドを中心に講義形式で行う。	宮川	
2	薬の投与経路				
3	生物学的半減期				
4	薬物に影響する因子				
5	薬物中毒				
6	薬の作用点				
7	薬の管理と新薬の誕生				
8	まとめ				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆理学療法学概論	担当 教員	三和 勘太	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
1年次 前期	1単位 15時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
我が国における理学療法の歴史と現状、理学療法士の役割を学習し、理学療法のイメージを明確にする。 専門課程における理学療法学履修のための導入科目として、理学療法総論を講義する。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 理学療法学概論テキスト 目で見るとリハビリテーション医学（東京大学出版会） 参考書： 理学療法概論 第5版（医歯薬出版）			筆記試験（100%） その他：授業の出席率、参加態度により総合的に評価する。		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	オリエンテーション、理学療法の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・課題プリントを実施。 ・課題を解き、誤答箇所を自ら直す。 ・計算の学力の把握及び向上。 	三和		
2	理学療法の概念と歴史				
3	理学療法士の法律				
4	理学療法の意義と役割				
5	理学療法の対象				
6	理学療法士の組織と倫理				
7	理学療法士教育				
8	理学療法士の活動分野				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆基礎理学療法学	担当 教員	杉本 孝宗	連絡先
対象学年	単位数			教員室
1年次 前期	2単位 30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
<p>本講義の目的は理学療法の枠組みと理論を理解し、系統的な理学療法が構築できる能力を養うことである。また、理学療法に必要な解剖学、分子生物学、運動生理学といった基礎医学を学ぶことで、科学的な観点から理学療法の効果やその機序を理解できる。</p>				
教科書、教材等			成績評価の方法	
<p>教科書： リハビリテーションビジュアルブック（学研） 基礎運動学（医歯薬出版）</p> <p>参考書： ビジュアルクチャー基礎理学療法学（医歯薬出版）</p>			筆記試験（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題		講義形式	教員名
1	生体の形と動きを表現する	<ul style="list-style-type: none"> 課題プリントを実施。 課題を解き、誤答箇所を自ら直す。 計算の学力の把握及び向上。 		杉本
2				
3	筋力と筋持久力			
4	姿勢			
5	歩行			
6	運動学的分析と運動学習			
7	筋力低下のメカニズム			
8	筋細胞の壊死と再生のメカニズム			
9				
10	脳の可塑性と運動・動作障害			
11				
12	痛みの病態メカニズム			
13	関節可動域障害の病態メカニズム			
14				
15	創傷治癒、靭帯損傷治癒のメカニズム			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆理学療法学セミナー I	担当 教員	大角 幸治 由久保 弘明	連絡先
対象学年	単位数		教員室	
1年次 後期	2単位 60時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
<p>(一般目標) ・2年生の実施している内容を見学し、評価の意義を理解する ・前期に学んだ解剖・生理・運動学の知識を復習する</p> <p>(行動目標) ・メモをとり、見学した内容をデイリーノートに記載することができる ・見学した内容に即した自己学習ができる</p>				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： PT・OTのためのOSCE（金原出版） 参考書：			デイリーノート（50%）と筆記試験（50%）、その他、態度などの情意面、出席率等を考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	解剖学・解剖学実習の基礎知識のまとめ	2年生の被検者となり、理学療法評価の意義について学ぶ。	大角、由久保	
2	1-3 コミュニケーション技法			
3	2-3 脈拍と血圧の測定			
4	2-11 反射検査（腱反射・病的反射）			
5	2-5 ROM-T（上肢・足関節背屈）			
6	2-6 MMT（上肢・下肢）			
7	まとめ① 1-8 移乗介助			
8	3年生総合臨床実習発表会の参加			
9	3年生 ⇒ 2年生、1年生 情報伝達会（縦割り）			
10	症例問題1 2-11 反射検査（下肢） 2-6 MMT（下肢）			
11	症例問題2 2-5 ROM-T（下肢） 2-1 療法士面接（問診）			
12	症例問題3 2-10 感覚検査（表在・深部・複合）			
13	症例問題4 2-7 形態測定			
14	まとめ② 実習プロフィール・抱負作成			
15	解剖学・生理学・運動学の基礎知識のまとめ			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆理学療法セミナー Ⅱ	担当 教員	石毛 巖 近藤 陽久 三和 勘太	連絡先
対象学年	単位数		教員室	
2年次 後期	2単位 60時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
<p>(一般目標) ・テキストの採点基準に基づき、模擬患者に対して課題を70%以上みたくすることができる(評価手順の確認、正確性・速度の確立)。</p> <p>(行動目標) ・評価を行うために必要な準備ができる。 ・患者に配慮した行動がとれる。 ・1年生に実施している内容の意味を説明できる。 ・評価結果をまとめ、考察をつけて報告できる。</p>				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： PT・OTのためのOSCE (金原出版)			毎回のOSCEについて技能面が70%以上を満たさないものは、再試験を行う。	
参考書：			OSCEの得点平均(20%)と定期試験の得点(40%)、デイリーノート(40%)を考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1, 2	共通 (基礎医学・臨床医学) のまとめ	各学習課題についてグループに分かれ、OSCEを行う。 試験実施後、教員や被検者となった1年生よりフィードバックを受けその内容について振り返りを行う。	石毛 近藤 三和	
3, 4	1-3 コミュニケーション技法			
5, 6	2-3 脈拍と血圧の測定			
7, 8	2-11 反射検査 (腱反射・病的反射)			
9, 10	2-5 ROM-T (上肢・足関節背屈)			
11, 12	2-6 MMT (上肢・下肢)			
13, 14	まとめ① 1-8 移乗介助			
15, 16	3年生総合臨床実習発表会の参加			
17, 18	3年生 ⇒ 2年生、1年生 情報伝達会(縦割り)			
19, 20	症例問題1 2-11 反射検査(下肢) 2-6 MMT(下肢)			
21, 22	症例問題2 2-5 ROM-T(下肢) 2-1 療法士面接(問診)			
23, 24	症例問題3 2-10 感覚検査(表在・深部・複合)			
25, 26	症例問題4 2-7 形態測定			
27, 28	まとめ② 実習プロフィール・抱負作成			
29, 30	専門 (基礎・治療学) ・共通 (基礎・臨床) のまとめ			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆理学療法セミナーⅢ	担当 教員	近藤、由久保 大角、石毛 杉本	連絡先
対象学年	単位数		教員室	
3年次 後期	3単位 90時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
<p>症例検討を通して、理学療法領域における知識や見解を深める。また、他学年をまたいだ縦割り講義の中で、自らの経験や知識を伝達する能力を養う。 国家試験対策として2分野（共通分野：基礎医学、臨床医学、専門分野：PT基礎、PT治療学）をテーマ別に講義を展開する。学内模擬試験および全国模擬試験をととして国家試験への準備を行う。</p>				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： クエスチョン・バンク理学療法士 共通問題・専門問題			成績判定の材料として学内模試・全国模試の得点率を平均したものを採用する。なお、出席率や課題レポート等も考慮して総合的に評価する。	
参考書： 国家試験必修ポイント（医歯薬出版） ①基礎医学、②臨床医学 ③PT基礎、④PT治療学				
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名
1	2	症例検討会	1～3年合同講義 縦割り班による討論や情報交換を行う。	各教員
3	4	縦割り伝達会		
5	6	内科系①（共通分野）	各学習課題について講義形式で行う。	
7	8	内科系②（共通分野）		
9	10	内科系③【専門分野】		
11	12	内科系④【専門分野】		
13	14	整形外科系①（共通分野）		
15	16	整形外科系②（共通分野）		
17	18	整形外科系③【専門分野】		
19	20	整形外科系④【専門分野】		
21	22	中枢神経系①（共通分野）		
23	24	中枢神経系③【専門分野】		
25	26	神経筋系（共通分野）／【専門分野】		
27	28	脊髄損傷系（共通分野）		
29	30	脊髄損傷系【専門分野】		
31	32	リハ概論（共通分野）／ADL・PT概論【専門分野】		
33	34	運動学（共通分野）		
35	36	生体力学【専門分野】		
37	38	小児系（共通分野）／【専門分野】		
39	40	臨床心理学・精神医学（共通分野）		
41	42	評価学【専門分野】		
43	44	義肢装具学【専門分野】		
45	46	運動療法／物理療法【専門分野】		

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆理学療法研究法 I	担当 教員	由久保 弘明	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
3年次 後期	1単位 30時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
本講義では研究の意義について考えるとともに、研究計画の立案方法や研究を進める上で必要な基本的な知識について学ぶ。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 教材を適宜配布する。			成績評価は研究計画書（80点満点）と小テスト（20点満点）の合計で判定する。また、出席率や課題レポート等も考慮して総合的に評価する。		
参考書： 理学療法研究法（医学書院） はじめての研究法（神陵文庫）					
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	文献とは何か	各学習課題について講義形式で行う。	由久保		
2	文献検索の仕方と文献レビュー				
3	文献の読み方				
4	文献の孫引きについて				
5	文献抄読と医学用語				
6	考察の書き方				
7	介入研究				
8	観察研究				
9	EBPT				
10	診療ガイドライン				
11	研究の必要性和流れ				
12	研究テーマの発見				
13	疑問の展開と仮説				
14	研究計画の立案と研究デザイン				
15	研究結果の公表方法 *ポスター演題				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆理学療法研究法Ⅱ	担当 教員	由久保 弘明 近藤 陽久 杉本 孝宗	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
3年次 後期	2単位 60時間				
授業形態	実習				
講義の概要					
理学療法研究テーマ別にグループワークで文献的考察を行う。 研究結果のまとめ方として統計学的処理の基本について学ぶ。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 教材を適宜配布する。 クエスチョンバンクPT専門			レジュメ発表の内容（40%）と課題レポート （中枢神経障害系30%、骨関節障害系30%）を 考慮して総合的に評価する。		
参考書： 理学療法研究法（医学書院） はじめての研究法（神陵文庫）					
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1, 2	中枢神経障害グループワーク		近藤		
3, 4					
5, 6					
7, 8					
9, 10	骨関節障害グループワーク	各研究テーマについてグループ ワークで文献的考察を行う。	由久保		
11, 12					
13, 14					
15, 16					
17, 18					
19, 20	対象と観察因子、尺度、検定法	各学習課題について講義形式で 行う。	由久保		
21, 22	代表値、正規分布、結果のまとめ方				
23, 24	有意水準、帰無仮説、対立仮説、第一種の過				
25, 26	F検定、Studentとwelchのt検定の演習				
27, 28	レジュメ発表会	まとめを口述発表する。	杉本		
29, 30					

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆理学療法評価学	担当教員	大角 幸治 三和 勘太	連絡先
対象学年	単位数		教員室	
2年次 前期	2単位 60時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
理学療法における評価の枠組みを理解し、心身機能と構造の評価に関する知識と技術を習得する。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 理学療法評価学改訂 第3版 金原出版株式会社 参考書： シンプル理学療法学シリーズ 理学療法評価学テキスト（南江堂） 図解 理学療法技術ガイド 第3版（文光堂）			理学療法学科・作業療法学科教務内規に従う。出席率や課題レポート等も考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	理学療法評価総論	各学習課題について教科書を中心に講義および実習を行う。	大角	
2	一般的評価事項（情報収集・医療面接）			
3	形態測定			
4	痛みの評価			
5	感覚検査			
6	反射検査			
7	筋緊張検査			
8	関節可動域測定（上肢1）		三和	
9	関節可動域測定（上肢2）			
10	関節可動域測定（下肢1）			
11	関節可動域測定（下肢2）			
12	筋力測定（上肢・体幹1）			
13	筋力測定（上肢・体幹2）			
14	筋力測定（下肢1）			
15	筋力測定（上肢2）			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆理学療法評価学実習	担当教員	大角 幸治	連絡先
対象学年	単位数			教員室
2年次 後期	2単位 60時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
理学療法評価の考え方と計測方法を実践的に学ぶ。各評価の関連性を身につけ、全体像を把握する。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
理学療法評価学（金原出版） 教科書： 理学療法評価学テキスト（南江堂）			実技試験（50%）と筆記試験（50%）、出席率等を考慮して総合的に評価する。	
新・徒手筋力検査法（協同医書） 参考書： ベッドサイドの神経の診かた（南山堂）				
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名
1, 2	オリエンテーション (評価実習の到達目標について)		一般的な評価項目の理解と習得を目標に、講義および実習を行う。 また、疾患別に異なる評価の注意点にも配慮しながら、評価実習に臨めるように準備を行う。	大角
3, 4	問診と情報収集			
5, 6	姿勢分析			
7, 8	バランス評価			
9, 10	運動器ROMの注意点			
11, 12	運動器MMTの注意点			
13, 14	協調性検査			
15, 16	中枢神経MMTの注意点			
17, 18	中枢神経ROMの注意点			
19, 20	筋緊張検査			
21, 22	姿勢反射			
23, 24	高次脳機能検査			
25, 26	A D L 評価			
27, 28	動作分析			
29, 30	総合演習			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆動作分析学	担当 教員	石毛 巖	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
2年次 前期	1単位 30時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
本講義では1年後期の動作分析学の内容を踏まえ、疾患・障害別の動作分析学について学ぶ。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 動作分析臨床活用講座（メジカルビュー社） PT・OTのためのOSCE（金原出版） 参考書： 臨床動作分析（医学書院） 理学療法評価学テキスト（南江堂）			実技試験（50%）と筆記試験（50%）、出席率等を考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名	
1	オリエンテーション		各学習課題について教科書を基に課題形式で行う	石毛	
2	股関節障害（変形性股関節症）				
3	膝関節障害（変形性膝関節症）				
4	足関節障害（足関節捻挫）				
5	足関節障害（アキレス腱炎）				
6	腰部障害（腰痛症）				
7	頸部障害（頸椎症性脊髄症）				
8	感覚障害（片麻痺）				
9	運動障害（片麻痺）				
10	脊髄損傷（対麻痺）				
11	脊髄損傷（四肢麻痺）				
12	錐体外路障害（パーキンソン病）				
13	協調運動障害（失調症）				
14	スポーツ障害（投球障害肩）				
15	まとめ				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆運動療法学	担当 教員	三和 勘太	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
1年次 後期	1単位 30時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
理学療法のもっとも大きな柱として運動療法は位置づけられているが、基本になっている知識は解剖学、生理学、運動学である。本講義ではそれらの基礎を復習しながら、代表的な運動療法の理論を学び、できるだけ実践的な例を挙げて講義する。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 運動療法学（金原出版） 参考書： 標準理学療法学 運動療法学（総論）			筆記試験（100%） その他：授業の出席率、参加態度により総合的に評価する。		
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名	
1	運動療法の概念		各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	三和	
2	関節可動域の改善				
3	筋力・筋持久力の改善				
4	ストレッチング				
5	体力の改善				
6	協調性の改善				
7	中間まとめ				
8	バランスの獲得・改善				
9	姿勢保持の改善				
10	基本動作の獲得・改善				
11	歩行の獲得・改善				
12	痛みの軽減・除去				
13	PNFアプローチ				
14	モビライゼーション				
15	まとめ				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆運動療法学実習	担当 教員	三和 勘太	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
2年次 前期	2単位 60時間				
授業形態	実習				
講義の概要					
理学療法士として社会に出て活躍するために必要な運動療法の知識、技術を実習を通して習得する。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 運動療法学（金原出版） 参考書： 運動療法学各論（医学書院）			実技試験（50%）と筆記試験（50%）、出席率等を考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1, 2	関節可動域運動（上肢）1	各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	三和		
3, 4	関節可動域運動（上肢）2				
5, 6	関節可動域運動（上肢実技試験）				
7, 8	関節可動域運動（下肢、体幹）1				
9, 10	関節可動域運動（下肢、体幹）2				
11, 12	関節可動域運動（下肢、体幹実技試験）				
13, 14	筋力強化運動（上肢）				
15, 16	筋力強化運動（上肢）				
17, 18	筋力強化運動（上肢実技試験）				
19, 20	筋力強化運動（下肢、体幹）				
21, 22	筋力強化運動（下肢、体幹）				
23, 24	筋力強化運動（下肢、体幹実技試験）				
25, 26	基本動作獲得のための指導方法				
27, 28	PNFアプローチ				
29, 30	まとめ				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆物理療法学	担当 教員	大角 幸治	連絡先
対象学年	単位数			教員室
1年次 後期	1単位 30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
物理療法における治療技術、治療特性、適応と禁忌等の知識を理解する。さらに骨・関節、神経・筋疾患に対する臨床適用技術法を修得する。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 物理療法学（金原出版） 参考書： 物理療法マニュアル（医歯薬出版）			筆記試験（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名
1	理学療法の中での物理療法の位置づけ 各種物理療法の歴史的背景		各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	大角
2	治療項目別の歴史 基礎物理学知識			
3	光線関連（逆2乗 ランバートの法則）温度、水、音波の特性 温熱効果・作用			
4	温熱作用・効果（復習） 寒冷作用・効果 牽引作用・効果 適応・禁忌			
5	温熱療法詳細 ・ホットパック パラフィン浴 赤外線			
6	超音波			
7	最小紅斑量テスト 低出力レーザー 極短波			
8	超短波 水治療法総論 ハバード浴 渦流浴			
9	交代浴 水中運動 カルボネンの式 牽引療法の総論			
10	牽引療法 各論 CPM 間欠的圧迫療法			
11	マッサージ 門制御理論			
12	電気療法総論			
13	FES TENS 詳細（各論）			
14	HVS 干渉波刺激療法 電気診断 筋電図バイオフィードバック			
15	まとめ			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆物理療法学実習	担当 教員	大角 幸治 杉本 孝宗	連絡先
対象学年	単位数		教員室	
2年次 前期	2単位 60時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
物理療法における疼痛抑制、温熱、痙性抑制等の治療効果に関する基本的特性を実験によって修得する。また、臨床技法として各種疾患に対する適用をシミュレーションする。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 物理療法学（金原出版） 参考書： 物理療法マニュアル（医歯薬出版）			レポート課題（50%）と実技試験（50%）、出席率等を考慮して総合的に評価する。	
学習課題			学習内容並びに方法	教員名
1～5	1. 温熱療法（伝導熱、対流熱、エネルギー転換熱、輻射熱）における生体皮膚温度の測定実習	各物理療法について実習形式にて学習する。		大角 杉本
6～10	2. 寒冷療法（伝導冷却、対流冷却、気化冷却、痙性抑制法）における生体皮膚温度、神経誘発電位の測定実習			
11～15	3. 光線療法（紫外線、ソフトレーザー療法）における皮膚紅斑反応測定実習			
16～20	4. 電気療法（経皮的末梢神経電気刺激、神経・筋電気刺激、干渉電流療法）における生体刺激実習及びモーターポイント探索			
21～25	5. 牽引療法（四肢牽引、脊椎牽引）におけるシミュレーション実習			
26～30	6. 水治療法（過流浴）におけるシミュレーション実習			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆義肢装具学	担当教員	石毛 巖	連絡先
対象学年	単位数			教員室
1年次 後期	1単位 30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
義肢装具の基礎知識を身につけ、理学療法士としてのチェックポイントをしっかりと押さえる事ができるよう講義していく。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書：	理学療法テキスト義肢学・装具学（中山書店） 作業療法学全書第9巻義肢装具学（共同医書）		筆記試験（100%） その他：授業の出席率、参加態度により総合的に評価する。	
参考書：				
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	切断と義肢の基礎知識・アライメントの概念	各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	石毛	
2	大腿切断・膝離断			
3	下腿切断・サイム切断			
4	股離断・片側骨盤切除・足部切断			
5	義手①			
6	義手②			
7	装具総論			
8	上肢装具（1）			
9	上肢装具（2）			
10	自助具・車椅子			
11	下肢装具			
12	靴型装具			
13	体幹装具・側彎症装具・歩行補助具			
14	脳卒中の装具			
15	整形外科・R A・対麻痺・小児の装具			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名		☆義肢装具学実習		担当 教員	石毛 巖 吉田 健次	連絡先
対象学年		単位数			教員室	
2年次	前期	1単位	30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態		実習				
講義の概要						
実際に、義肢や装具を使用して、チェックポイントを理解できるようにする。短下肢装具の作成を行う。						
教科書、教材等				成績評価の方法		
教科書：	理学療法テキスト義肢学・装具学（中山書店）			レポート課題（50%）と筆記試験（50%）、出席率等を考慮して総合的に評価する。		
参考書：	義肢装具学（医学書院） 義肢装具のチェックポイント（医学書院） 理学療法学テキストVI 義肢装具学（神陵文庫）					
回数	学習課題			学習内容並びに方法	教員名	
1	切断の評価			実技中心で演習を行う	石毛	
2	断端管理					
3	義足のチェックポイント（1）					
4	義足のチェックポイント（2）					
5	切断の理学療法（1）					
6	切断の理学療法（2）					
7	頸椎・体幹装具のチェックポイント					
8	上肢装具のチェックポイント					
9	下肢装具のチェックポイント					
10	中枢神経障害装具のチェックポイント					
11	小児装具・整形外科治療装具のチェックポイント					
12	リハビリテーション機器のチェックポイント					
13	装具作成(1)					
14	装具作成(2)					
15	装具作成(3)					

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆発達障害理学療法学	担当 教員	近藤 陽久	連絡先
対象学年	単位数			教員室
2年次 前期	1単位 30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
<p>1. 正常運動発達を理解することで、神経発達のな発達機序、意義を学習する。 2. 脳性麻痺をはじめとする発達障害児の臨床像を理解し、理学療法における評価、療育への関わりを学習する。</p>				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： こどもの理学療法 第2版（神陵文庫） 参考書：			演習発表および筆記試験により評価する。また、出席率や課題レポート等も考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名
1	理学療法における正常運動発達、発達障害		各学習課題について教科書を中心に講義形式および演習を行う。	近藤
2	「発達」胎児期の発達、反射と姿勢の発達			
3	「発達」生後1～5ヶ月の発達			
4	「発達」生後6ヶ月～の発達			
5	発達障害の理学療法・総論			
6	脳性麻痺の理学療法（1）			
7	脳性麻痺の理学療法（2）			
8	筋ジストロフィーの理学療法（1）			
9	筋ジストロフィーの理学療法（2）			
10	重症心身障害児の理学療法			
11	二分脊椎・ダウン症について			
12	低出生体重児・精神発達遅滞児について			
13	症例検討（1）			
14	症例検討（2）			
15	まとめ			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆発達障害障害理学療法実習	担当教員	近藤 陽久 大矢 陽介	連絡先
対象学年	単位数			教員室
2年次 後期	1単位 30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
前期の講義をもとに、発達段階に応じた治療方法や考え方を実習する。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： こどもの理学療法 第2版（神陵文庫） 参考書：			筆記試験（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	理学療法における正常運動発達、発達障害の基本的な考え方	各学習課題について実技形式で行う。	近藤 大矢	
2	乳幼児の原始反射の見方、解釈の仕方			
3	正常運動発達 1（座位）			
4	正常運動発達 2（立位・歩行）			
5	発達障害・中枢神経疾患の評価と治療手技			
6	脳性麻痺の治療概念と原則			
7	脳性麻痺（痙直型両麻痺・乳幼児期） 1 発達の特徴			
8	脳性麻痺（痙直型両麻痺・乳幼児期） 2 評価の仕方、問題点の捉え方			
9	脳性麻痺（痙直型両麻痺・乳幼児期） 3 治療の実際			
10	重症心身障碍児の理学療法		近藤	
11	筋ジストロフィーの理学療法①			
12	筋ジストロフィーの理学療法②			
13	二分脊椎の理学療法			
14	ペルテス病の理学療法			
15	ダウン症その他知的障害の理学療法			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆骨関節障害理学療法 学	担当 教員	杉本 孝宗	連絡先
対象学年	単位数			教員室
2年次 前期	1単位 30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
骨関節疾患に対する理学療法の評価・治療の内容を総論と各論に分けてその基礎知識と標準的な臨床技術・応用の理解を深める。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 理学療法テキスト 運動器障害理学療法 学 I・II (中山書店) 参考書： 整形外科疾患の理学療法 (金原出版)			筆記試験 (100%) と出席率等を考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名
1	総論		各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	杉本
2	THA、RAO			
3	腰痛症 (椎間板障害)			
4	TKA			
5	脊髄損傷			
6	OPLL			
7	大腿骨頸部骨折			
8	下腿骨・上腕骨骨折			
9	RA			
10	手関節障害・末梢神経損傷			
11	肩関節周囲炎・腱板損傷			
12	スポーツ障害・人工肩関節			
13	足関節骨折・捻挫			
14	半月板損傷・ACL損傷・アキレス腱断裂			
15	まとめ			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆骨関節障害理学療法学実習	担当 教員	三和 勘太 由久保 弘明 杉本 孝宗	連絡先	
対象学年	単位数			教員室	
2年次 後期	3単位 90時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
授業形態	実習				
講義の概要					
骨関節疾患症例を課題とし、各症例に対して理学療法評価・治療プログラムを立案する。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： リハ実践テクニック 骨・関節疾患の理学療法 (メディカルビュー) 参考書： 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学Ⅰ・Ⅱ (中山書店)			実技試験 (40%) と筆記試験 (40%)、課題レポート (20%) で総合的に評価する。		
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名	
1	2	検査・測定・評価	各症例課題についてグループで発表する。	由久保	
3	4	骨関節障害に対する関節可動域運動			
5	6	骨関節障害に対する筋力増強運動			
7	8	骨関節障害に対する歩行・階段昇降練習			
9	10	骨関節障害に対する移乗動作			
11	12	整形外科的テスト			
13	14	末梢神経損傷・RA			
15	16	変形性膝関節症			
17	18	TKA			
19	20	ACL損傷・半月板損傷			
21	22	膝蓋骨骨折・下腿骨骨折			
23	24	足関節外側靭帯損傷・踵骨骨折・アキレス腱断裂			
25	26	上腕損傷の評価と治療 (1)			三和
27	28	上腕損傷の評価と治療 (2)			
29	30	肘・前腕損傷の評価と治療			
31	32	頸椎疾患の評価と治療 (1)			
33	34	頸椎疾患の評価と治療 (2)			
35	36	胸椎疾患の評価と治療			
37	38	腰椎疾患の評価と治療 (1)			
39	40	腰椎疾患の評価と治療 (2)			
41	42	変形性股関節症・大腿骨頭壊死		杉本	
43	44	大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折			
45		まとめ		由久保	

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆中枢神経障害理学療法学	担当教員	近藤 陽久	連絡先
対象学年	単位数			教員室
2年次 前期	1単位 30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
脳卒中を中心として、中枢性疾患の特徴、診断、検査方法、リハビリテーションの実際を講義する。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 中枢神経障害理学療法学テキスト（南江堂） 理学療法技術ガイド（文光堂） 参考書： リハ実践テクニック 脳卒中（メジカルビュー社）			筆記試験（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名
1	脊髄損傷（頸髄損症）		各学習課題について講義形式で行う。	近藤
2	脊髄損傷（胸髄・腰髄損症）			
3	脳性麻痺・頭部外傷			
4	錐体外路系傷害			
5	脳卒中の特徴とリハビリテーションでの注意点			
6	脳梗塞			
7	脳出血			
8	くも膜下出血			
9	脳卒中の問診・診察・検査			
10	脳卒中患者の運動・動作障害			
11	脳卒中患者のADL制限、嚥下障害、言語障害			
12	高次脳機能障害			
13	小脳障害			
14	脳幹傷害			
15	まとめ			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名		☆中枢神経障害理学療法学実習		担当教員	近藤 陽久 織平 秀一	連絡先
対象学年		単位数			教員室	
2年次	後期	3単位	90時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態		実習				
講義の概要						
中枢神経疾患の特徴、診断、検査方法、リハビリテーションの実際を実技を通して学ぶ。						
教科書、教材等				成績評価の方法		
教科書： 中枢神経障害理学療法学テキスト（南江堂） 参考書： 理学療法技術ガイド（文光堂） リハ実践テクニック 脳卒中（メジカルビュー社）				実技試験（40％）と筆記試験（40％）、課題レポート（20％）で総合的に評価する。		
回数	学習課題			学習内容並びに方法	教員名	
1	2	脳血管障害の理学療法評価法1		各症例課題についてグループで発表する。	近藤	
3	4	脳血管障害の理学療法評価法2				
5	6	脳血管障害の理学療法評価法3				
7	8	脳血管障害の理学療法1				
9	10	脳血管障害の理学療法2				
11	12	脳血管障害の理学療法3			近藤	
13	14	軽度中枢神経障害患者の理学療法評価法				
15	16	軽度中枢神経障害患者の理学療法				
17	18	高次脳機能障害の理学療法評価法				
19	20	高次脳機能障害の理学療法				
21	22	失調症の理学療法評価法1				
23	24	失調症の理学療法評価法2				
25	26	失調症の理学療法1				
27	28	失調症の理学療法2				
29	30	四肢麻痺の理学療法評価法1				
31	32	四肢麻痺の理学療法評価法2				
33	34	四肢麻痺の理学療法評価法3				
35	36	四肢麻痺の理学療法1				
37	38	四肢麻痺の理学療法2				
39	40	四肢麻痺の理学療法3				
41	42	症例検討 1				
43	44	症例検討 2				
45		まとめ				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆内部障害理学療法学	担当 教員	大角 幸治	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
2年次 前期	1単位 30時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
呼吸・循環・代謝疾患の理学療法の基礎と臨床について学び、リスク管理に必要な知識を身につける。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： ゴールド・マスター・テキスト 内部障害系理学療法学 (MEDICALVIEW) 参考書： 循環器疾患の理学療法 (医歯薬出版)			筆記試験 (100%) と出席率等を考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名	
1	呼吸器疾患の病態・分類		各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	大角	
2	検査データの見方				
3	呼吸器疾患の評価				
4	呼吸器疾患の理学療法プログラム				
5	包括的呼吸リハビリテーション				
6	呼吸器疾患の運動負荷試験				
7	呼吸器疾患のまとめ				
8	循環器疾患の病態生理				
9	循環器疾患の診断学、治療学				
10	循環器疾患の評価				
11	循環器疾患の理学療法プログラム				
12	循環器疾患の運動療法の実際				
13	代謝疾患の理学療法				
14	患者教育とリスク管理				
15	循環代謝疾患のまとめ				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆内部障害理学療法実習	担当 教員	大角 幸治	連絡先
対象学年	単位数			教員室
2年次 後期	1単位 30時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
呼吸器理学療法と心疾患リハビリテーションの評価・治療技術について学び、リスク管理に必要な知識を身につける。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 呼吸リハビリテーション入門 第4版 (神陵文庫) 参考書： 循環器疾患の理学療法 (医歯薬出版)			筆記試験 (100%) と出席率等を考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	胸部の体表解剖、視診、触診	各学習課題について実技を中心に行う。	大角	
2	打診、聴診 (心音、呼吸音)			
3	運動耐用能の評価 (6分間歩行試験)			
4	リラクゼーション、ストレッチ			
5	呼吸練習 (横隔膜呼吸、口すぼめ呼吸、胸式呼吸、部分呼吸)			
6	体位排痰法 (体位ドレナージ、スクイーピング)			
7	体位排痰法 (振動法、揺すり法、軽打法、咳の介助法)			
8	心電図モニタリング			
9	胸郭可動域運動			
10	運動負荷試験 (マスター二階段試験)			
11	胸部外科術後の理学療法			
12	慢性閉塞性肺疾患の理学療法			
13	虚血性心疾患の理学療法			
14	代謝性疾患 (特に糖尿病) の理学療法			
15	まとめ			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆神経筋障害理学療法 学	担当 教員	石毛 巖	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
2年次 前期	1単位 30時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
神経・筋障害における理学療法の治療技術、適応とリスク、治療効果を解説する。また、神経・筋障害の病態像についても解説する。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 病気がみえる（メディックメディア） 参考書： リハビリテーション神経学（医歯薬出版） 図解 理学療法技術ガイド 第3版（文光堂）			筆記試験（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	神経疾患に対する理学療法理論	各学習課題について教科書を中心に講義形式で行う。	石毛		
2	筋疾患に対する理学療法理論				
3	末梢神経障害				
4	ギランバレー症候群				
5	運動ニューロン疾患				
6	筋萎縮性側索硬化症				
7	脊髄空洞症				
8	脱髄疾患				
9	反射性交感神経ジストロフィー				
10	進行性筋ジストロフィー				
11	筋無力症症候群				
12	多発性筋炎				
13	神経性神経炎				
14	脊髄小脳変性症				
15	パーキンソン病				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆神経筋障害理学療法 学実習	担当 教員	石毛 巖	連絡先
対象学年	単位数			教員室
2年次 後期	2単位 60時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
神経・筋障害における理学療法の評価・治療技術、適応とリスクについて実習する。				
			成績評価の方法	
教科書： リハビリテーション神経学（医歯薬出版） 図解 理学療法技術ガイド 第3版（文光堂） 参考書：			筆記試験（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名
1, 2	末梢神経障害の評価		各学習課題について実技形式で行う。	石毛
3, 4	末梢神経障害の理学療法			
5, 6	末梢神経障害の理学療法			
7, 8	運動ニューロン疾患の評価			
9, 10	運動ニューロン疾患の理学療法			
11, 12	運動ニューロン疾患の理学療法			
13, 14	脱髄疾患の評価			
15, 16	脱髄疾患の理学療法			
17, 18	脱髄疾患の理学療法			
19, 20	筋疾患の評価			
21, 22	筋疾患の理学療法			
23, 24	筋疾患の理学療法			
25, 26	神経・筋障害理学療法グループワーク			
27, 28	神経・筋障害理学療法グループワーク			
29, 30	神経・筋障害理学療法グループワーク			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆日常生活活動学	担当 教員	石毛 巖	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
1年次 後期	1単位 30時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
理学療法におけるADLの位置づけ、ADLの運動学的分析、ADL評価の実際と疾患別のADL指導について講義する。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 日常生活活動学・生活環境学 第4版（医学書院） PT・OTのためのOSCE（金原出版） 参考書： 日常生活活動（ADL）第2版（神陵文庫）			筆記試験（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	施設見学（ADLの実際）①	各学習課題について講義ならびに演習を行う	石毛		
2	施設見学（ADLの実際）②				
3	施設見学（ADLの実際）③				
4	ADLの概念と範囲				
5	ADLと障害（ICIDH、ICF）				
6	ADLとQOL				
7	ADLを支援する機器（自助具・補助具など）				
8	ADL評価の実際①				
9	ADL評価の実際②				
10	ADL評価の実際③				
11	ADL評価の実際④				
12	ADL評価の実際⑤				
13	ADL評価の実際⑥				
14	生活環境の評価と改善計画・住宅改修と介護保険				
15	まとめ				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆日常生活活動学実習	担当教員	石毛 巖	連絡先
				教員室
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
2年次 前期	1単位 30時間			
授業形態	実習			
講義の概要				
日常生活動作の評価および指導の実際について疾患別に演習する				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書：日常生活活動学・生活環境学 第4版（医学書院） PT・OTのためのOSCE（金原出版） 15レクチャーシリーズ 理学療法評価学 I 参考書：日常生活活動(ADL)第2版（神陵文庫）			実技試験（40%）と筆記試験（40%）、課題レポート（20%）で総合的に評価する。	
回数		学習内容並びに方法	教員名	
1	理学療法評価学 I 15 ADL・QOL	担当教員による実技指導およびグループワークによる演習を行う。	石毛	
2	OSCE L3-1（起居）			
3	OSCE L3-2（起立）			
4	OSCE L3-3（移乗）			
5	OSCE L3-4（トイレ）			
6	OSCE L3-5（更衣）			
7	OSCE L3-6（歩行）			
8	OSCEまとめ			
9	各論 ADL指導（片麻痺）			
10	各論 ADL指導（脊髄損傷）			
11	各論 ADL指導（人工関節）			
12	各論 ADL指導（リウマチ）			
13	各論 ADL指導（神経筋）			
14	各論 ADL指導（呼吸・循環）			
15	各論まとめ			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆生活環境学	担当 教員	石毛 巖	連絡先
対象学年	単位数			教員室
1年次 前期	1単位 15時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
<p>障害者や高齢者を含むすべての人は、環境への適応能力を發揮しながら日常生活や社会生活を営んでいる。このような人々の生活が、心身ともに健康で文化的であるようその質の向上を図っていくために、専門職として必要な知識や技能を習得する。</p>				
教科書、教材等			成績評価の方法	
<p>教科書： 標準理学療法専門分野 日常生活活動学・生活環境学（医学書院）</p> <p>参考書： 理学療法学テキストⅩ 生活環境論（神陵文庫）</p>			筆記試験（80%）、課題レポート（20%）で総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	オリエンテーション、生活環境学の概念	<ul style="list-style-type: none"> ・課題プリントを実施。 ・課題を解き、誤答箇所を自ら直す。 ・計算の学力の把握及び向上。 	石毛	
2	生活環境の評価と改善計画			
3	福祉用具・自助具の説明			
4	生活環境としての住宅・住宅改修			
5	各疾患に対するADL、福祉用具の導入			
6	ユニバーサルデザインについて			
7	フィールドワークの実践、グループ発表			
8	まとめ			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆言語療法学概論	担当 教員	越 文佳	連絡先
対象学年	単位数			教員室
2年次 後期	1単位 15時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
言語聴覚療法についての知識を習得する。 言語聴覚療法の基本と論理について学ぶ。 対象となる疾患および障害について学ぶ。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書：	絵でわかる言語障害—言葉のメカニズムから対応まで 第2版（学研）		筆記試験（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。	
参考書：				
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名	
1	ことばとは？ことばを生み出すメカニズム	全体を通して視聴覚教材や演習などの体験学習を取り入れて行う。	越	
2	聴覚障害			
3	小児のコミュニケーション障害			
4	構音障害・コミュニケーション障害			
5	摂食嚥下障害			
6	失語症			
7	高次脳機能障害			
8	まとめと復習			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆作業療法学概論	担当 教員	飯田 正樹	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
1年次 前期	1単位 15時間				
授業形態	講義				
講義の概要					
<p>作業療法とは、実際にどのような仕事をする専門職なのか、どのような対象者に行われるのか、その業務、役割について学ぶ。</p>					
教科書、教材等			成績評価の方法		
<p>教科書： 教材を適宜配布する。</p> <p>参考書： 作業療法学概論[作業療法学コールトマスター・テキスト1] メジカルビュー社</p>			<p>評定は定期試験（80%）と授業内で指定する課題レポート（20%）によって行う。</p>		
回数	学習課題	学習内容並びに方法	教員名		
1	作業療法の魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題プリントを実施。 ・課題を解き、誤答箇所を自ら直す。 ・計算の学力の把握及び向上。 	飯田		
2	理念と歴史				
3	定義				
4	実践（作業療法の流れ、対象、領域）				
5	関連職種との連携、求められる資質				
6	職業倫理、理学療法士作業療法士法				
7	記録と報告、診療報酬				
8	自身が目指す作業療法士像、理学療法士像				

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆地域理学療法学	担当教員	杉本 孝宗	連絡先
対象学年	単位数			教員室
2年次 後期	1単位 15時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	講義			
講義の概要				
本講義では、高齢者に対するリハビリテーションや介護予防の取り組みについて学ぶ。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 教材を適宜配布する。 参考書： 地域理学療法学（医学書院）			レポート課題（100%）と出席率等を考慮して総合的に評価する。	
回数	学習課題	学習内容並びに方法		教員名
1	地域理学療法学の概念	適時、資料を配布し各学習課題について講義形式で行う。		杉本
2	地域リハビリテーションを支えるシステム			
3	地域理学療法学の展開			
4	地域理学療法の実際			
5	事例紹介・検討（1）			
6	事例紹介・検討（2）			
7	緩和ケア			
8	終末期リハの関わり方			

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆臨床見学実習	担当 教員	大角、由久保 近藤、石毛 杉本	連絡先	
対象学年	単位数			教員室	
1年次 後期	1単位 45時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
授業形態	実習				
講義の概要					
臨床における理学療法士の役割を見学実習を通して包括的に体験する。 また、医療従事者としての基本的態度を学ぶ。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書： 参考書： 臨床実習の手引き			臨床実習指導者による評価と校内での臨床見学 実習報告会の発表内容、実習中の課題レポート 等の内容を総合的に評価する。		
回数	学習課題		学習内容並びに方法	教員名	
1	臨床見学実習前オリエンテーション 臨床実習施設における見学実習		本校指定の臨床実習施設で臨床 実習指導者の指導の下で臨床見 学実習を行う。臨床見学実習報 告書を毎日指導者に提出する。 レポート課題等は必要に応じて 課される。	各教員	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆臨床評価実習	担当 教員	大角、由久保 近藤、石毛 杉本	連絡先
対象学年	単位数		教員室	
2年次 後期	3単位 135時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
臨床での評価技術を3週間の評価実習を通して包括的に体験する。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書： 教材を適宜配布する。			臨床実習指導者による評価と校内での臨床評価実習報告会の発表内容、実習中の課題レポート等の内容を考慮して総合的に評価する。	
参考書：				
学習課題			学習内容並びに方法	教員名
<p>実習期間：4週間 *臨床実習の1単位（1週間）の時間数は40時間以上の実習をもって構成し、実習時間外の学修等を含め45時間以内とする。</p> <p><内容> 1. 臨床評価実習前オリエンテーション 2. 本校指定の臨床実習施設で4週間の臨床評価実習を行う。 3. 臨床評価実習後オリエンテーション 4. 臨床評価実習発表会（スライド発表）</p> <p><実習の実際> 1. 本校指定の臨床実習施設で臨床実習指導者の指導・監督の下で評価の結果から問題抽出を行い、治療目標を立案する。 2. 臨床評価実習報告書を毎日指導者に提出する。 3. レポート課題等は必要に応じて課される。</p>			本校指定の臨床実習施設で臨床実習指導者の指導の下で臨床評価実習を行う。臨床評価実習報告書を毎日指導者に提出する。レポート課題等は必要に応じて課される。	各教員

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆総合臨床実習 I	担当 教員	大角、由久保 近藤、石毛 杉本	連絡先	
				教員室	
対象学年	単位数		質問受付時間・場所等 随時・教員室		
3年次 前期	7単位 315時間				
授業形態	実習				
講義の概要					
理学療法評価および治療技術を8週間の臨床実習を通して包括的に体験し習得する。					
教科書、教材等			成績評価の方法		
教科書：			臨床実習指導者による評価と校内での臨床評価 実習報告会の発表内容、実習中の課題レポート 等の内容を考慮して総合的に評価する。		
参考書： 臨床実習の手引き					
学習課題			学習内容並びに方法	教員名	
<p>総合臨床実習前オリエンテーション</p> <p>本校指定の臨床実習施設で8週間の総合臨床実習を行う。</p> <p>総合臨床実習後オリエンテーション</p> <p>総合臨床実習発表会</p>			本校指定の臨床実習施設で臨床実習指導者の指導の下で総合臨床実習を行う。総合臨床実習報告書を毎日指導者に提出する。レポート課題等は必要に応じて課される。	各教員	

☆ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	☆総合臨床実習Ⅱ	担当 教員	大角、由久保 近藤、石毛 杉本	連絡先
対象学年	単位数		教員室	
3年次 後期	7単位 315時間		質問受付時間・場所等 随時・教員室	
授業形態	実習			
講義の概要				
理学療法評価および治療技術を8週間の臨床実習を通して包括的に体験し習得する。				
教科書、教材等			成績評価の方法	
教科書：			臨床実習指導者による評価と校内での臨床評価 実習報告会の発表内容、実習中の課題レポート 等の内容を考慮して総合的に評価する。	
参考書： 臨床実習の手引き				
学習課題			学習内容並びに方法	教員名
<p>総合臨床実習前オリエンテーション</p> <p>本校指定の臨床実習施設で8週間の総合臨床実習を行う。</p> <p>総合臨床実習後オリエンテーション</p> <p>総合臨床実習発表会</p>			<p>本校指定の臨床実習施設で臨床実習指導者の指導の下で総合臨床実習を行う。総合臨床実習報告書を毎日指導者に提出する。レポート課題等は必要に応じて課される。</p>	各教員

☆ 実務経験のある教員等による授業科目